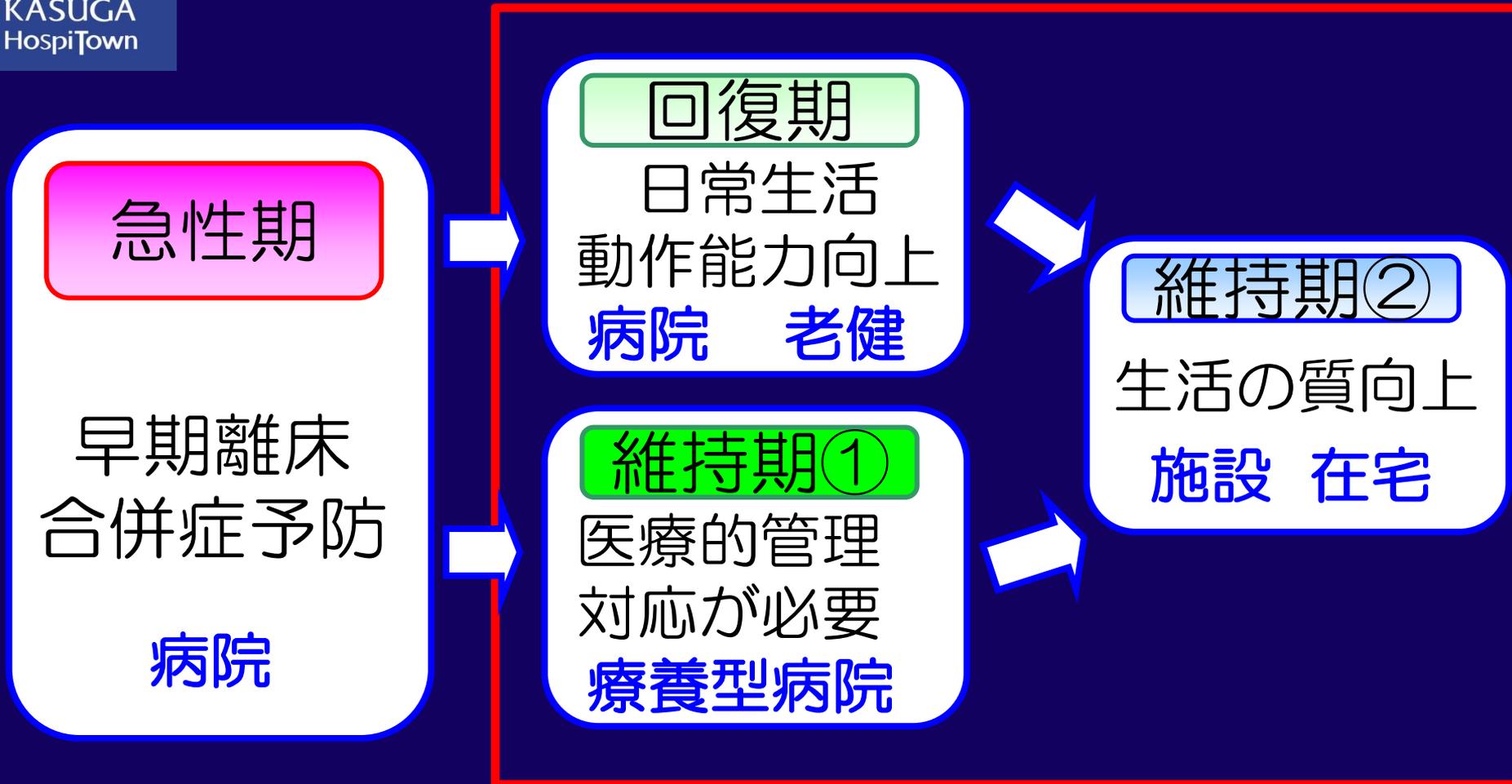


平成23年2月26日健康教室

困ったときの施設選び
それぞれの施設の役割について。

(医)三成会 南東北春日リハビリテーション病院
社会福祉士 星 真理子

現状の医療制度・介護保険制度の流れ



それぞれの役割に応じた施設で適切な医療・介護サービスの提供を行なう。

各施設の具体的な概要

回復期の施設とは・・・。

回復期リハビリテーション病棟
介護老人保健施設 介護療養型医療施設

維持期①の施設とは・・・。

療養型医療施設

維持期②の施設とは・・・。

特別養護老人ホーム グループホーム
有料老人ホーム ケアハウス

回復期リハビリテーション病棟



主に脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者様に対して日常生活活動(ADL)の向上による、在宅復帰・社会復帰を目指す病棟です。各スタッフが各々の専門性を活かしながらチームとなって連携し、患者様やご家族と一緒に取り組んでいます。

特徴：

状態が安定されている方で疾患によっては入院できないものもあり、入院までの期間と入院できる期間が疾患によって定められています。

介護老人保健施設



長期入所療養介護:

要介護1～5の認定を受けている

短期入所療養介護:

要支援1～要介護5の認定を受けている

利用料金

4人部屋 9万円 個室14万円程度

回復期リハビリと同じくリハビリに特化した介護保険施設です。
専門スタッフのリハビリももちろん行いますが、生活の中でのリ
ハビリを実施しご自宅に帰ることを目的としている施設です。

※なお中間施設という位置づけのため**ずっと入所することは出
来ない施設**です。

介護療養型医療施設



要介護度1～5と認定されている人が、急性期の治療が終わり、慢性的な症状のための療養を行うための施設で、医療・看護に重点を置いたサービスが受けられます。

介護保険施設の中で**1番医療的対応に強く**、痰の吸引や胃ろう、じょくそう、尿管カテーテル、といった医療措置が必要な人でも問題なく入居が可能で、現実的にはターミナルケアや看取りの場となることも少なくありません。

相部屋の場合、1カ月あたりの費用は9～17万円程度。
ユニットケア型の場合は、25万円を超える。

療養型病床群



長期療養患者のうち密度の高い医学的管理、治療の必要な方が対象となります。
(例 常時 点滴が必要・酸素が必要等)

<特徴>

患者さんの医療区分とADL区分によって入院基本料が変わってきます。

その他、入院日数が通算180日を超えた患者は、**特定療養費制度**も療養病床に適応されています。

この制度により病院側から患者さんに退院を求められるケースが多く見られています。

特別養護老人ホーム



常に介護が必要で、家での介護が困難な人が対象。
要介護度1~5の人が利用できる。食事、排せつ、入浴など日常生活の介助や健康管理を受けられる。

大きな特徴としては・・・。

▽比較的 low 料金

▽終身利用できる

▽対応できる医療が限られ、入所できない場合も

▽待機者が多い

グループホーム



認知症で生活に困難を抱えた人達が、専門スタッフ等の援助を受けながら、小人数、一般の住宅で生活する社会的介護の形態のことである。

グループホームの入居条件

要支援2から要介護5までの認定者は可能

認知症と医師から診断を受けた方

料金形態 入居一時金あり 約15万円／月

有料老人ホーム



民間企業が経営しているケースが多く、料金設定も様々(数百万円 – 数千万円)で入居一時金を支払う(終身)利用権方式、賃貸借方式、終身建物賃貸借方式がある。介護保険の適用の有無、介護サービスの内容に応じて、「介護付き」「住宅型」「健康型」の3つのタイプの有料老人ホームに分けられる。

ケアハウス



ケアハウスは、「60才以上の自立した方を対象とした、**食事・入浴付きの老人マンション**」です。

入所の際には、入浴や排泄はできるが、洗濯・調理などが低下しつつあり、自立した生活が心配な高齢者に利用してもらう為の施設です。

「身のまわりのことが自分でできる」というのが入所条件のため、要介護度が高くなった場合には退去しなければいけません。
6～17万円程度（食事代込み、入所者の経済状況によって異なる）
入居一時金として50～400万円程度が必要となる場合もあります。

これからの流れについて

急性期

医療制度改革により、必要な入院
治療が終われば即退院
平均在院日数 14日

その方の病気や体の状況に応じた適切な医療・
介護を受ける為の介護保険施設や医療機関を
検討する材料にしていたければと思います。